

特別支援学校におけるセンター的機能充実のための

## 訪問支援実践資料集

—多様なニーズへチームで対応する校内体制の確立を通して—



岩手県立総合教育センター

教育支援相談担当

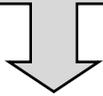
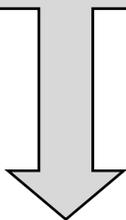
## はじめにお読みください

センター的機能の充実を図るための資料集として、様式を中心に構成しました。センター的機能を充実するために、ご活用下さい。

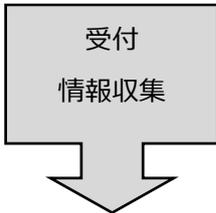
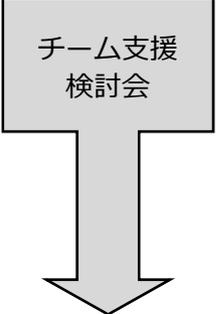
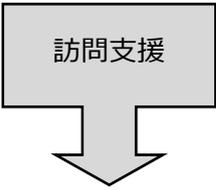
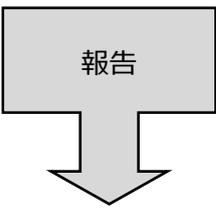
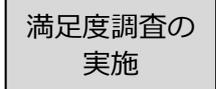
## 目 次

- 1 相談チームによる訪問支援を行うための校内体制作り・・・・・・・・・・ 1
- 2 相談チームによる訪問支援の流れ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
- 3 校内体制確立のための資料集
  - (1) 校内資源調査 資料1・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
  - (2) 校内資源調査集計表(例) 資料2・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6
  - (3) 相談チームカテゴリー分け一覧表(例) 資料3・・・・・・・・・・・・ 6
- 4 相談対応のための資料集
  - (1) 訪問支援チェックリスト① 資料4・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7
  - (2) 訪問支援チェックリスト② 資料5・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8
  - (3) 相談チームの編成(例) 資料6・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 16
  - (4) 相談ケースシート 資料7・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 18
  - (5) 訪問支援に関わる満足度調査アンケート(例) 資料8・・・・・・・・・・ 19

# 1 相談チームによる訪問支援を行うための校内体制作り

流 れ	内 容	ページ
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">校内資源調査の実施</div> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>校内資源を把握するために資料1「校内資源調査」を実施する。</li> </ul>	P3～P5
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">調査結果の集計</div> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>調査結果を集計する。資料2</li> <li>「支援センター部」「訪問支援経験者」「スキルを生かした相談グループ」の категорияに分け、一覧表にまとめる。資料3</li> <li>一覧表は、調査結果として教職員へ配付する。</li> </ul>	P6
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">校内体制構築</div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>校内体制「相談チーム」の構築</li> </ul>	

## 2 相談チームによる訪問支援の流れ

流れ	内容	ページ
 <p>受付 情報収集</p>	<p>①副校長，または支援センター部長が受付する。 訪問支援チェックリスト①[資料4]の回答を求め，書面で受付を行う。</p> <p>②訪問支援チェックリスト①の回答結果を踏まえ，詳細な情報を収集するために，支援センター部長が訪問支援チェックリスト②[資料5]の記入を相談先に依頼する。</p>	<p>P7</p> <p>P8～P15</p>
 <p>相談チームの 編成</p>	<p>①受付で得た情報を踏まえて，支援センター部長が「相談チーム」を編成する。校内資源調査の結果を踏まえ，ケースに応じてチームを編成する。[資料6]</p>	<p>P16～P17</p>
 <p>チーム支援 検討会</p>	<p>①支援センター部員は，チーム支援検討会を開催する日程調整を行う。また，訪問支援日の日程調整を行うために相談者と連絡を取る。その際，最新の学級の状況や児童の様子の情報収集を行う。</p> <p>②チーム支援検討会では，訪問支援チェックリスト①・②の回答結果や，支援センター部員が相談者から得た情報を資料に具体的な支援の手立てについて検討を行う。</p> <p>③支援センター部員は，検討された内容を，相談ケースシートに記入する。[資料7]</p>	<p>P18</p>
 <p>訪問支援</p>	<p>①支援センター部員が相談先の学校を訪問し，児童生徒の授業参観や，実際に児童生徒と関わり，アセスメントする。</p> <p>②カンファレンスを実施し，相談チームで検討された支援の手立てについて提示を行う。相談者と児童生徒の支援の手立てを共有し，児童生徒の支援について行う。</p>	
 <p>報告</p>	<p>①訪問支援の様子を，支援センター部員は副校長や支援センター長へ相談ケースファイルを使用し，報告する。</p> <p>②相談チームのメンバーにも相談ケースシートを使用し，報告する。このようにチームメンバーと共通理解することで，訪問先の学校の様子や相談先の学校が今後取り組む内容などの情報共有ができる。</p>	
 <p>相談後の 状況調査</p>	<p>①支援センター部員は，訪問支援後の状況を確認し，相談内容について改善が見られたかどうか連絡を取る。</p> <p>※継続した支援が必要な場合は，「チーム支援検討会」を再度開催し，チームで支援の手立てを確認したり，再検討したりする。</p>	
 <p>満足度調査の 実施</p>	<p>① 相談先の学校に対し，満足度調査の実施をし，相談先の学校から声をいただくことで，センター的機能の向上になるよう努める。[資料8]</p>	<p>P19</p>

### 3 校内体制確立のための資料集

#### (1) 校内資源調査

資料1

##### 教職員のセンター的機能における外部支援に関する調査

学部（分教室）	
校務分掌	
職・氏名	

#### 1 指導・支援の経験について

(1) 指導・支援の経験のある校種や学部等について、当てはまるものを○で囲んでください。また、( ) にその経験年数の記入もお願いします。(複数回答可)

##### 【障がい種】

視覚障がい教育 ・ 聴覚障がい教育 ・ 知的障がい教育 ・ 肢体不自由教育 ・ 病弱教育  
( ) 年 ( ) 年 ( ) 年 ( ) 年 ( ) 年

##### 【学部・校種等】

幼稚部 ・ 小学部 ・ 中学部 ・ 高等部  
( ) 年 ( ) 年 ( ) 年 ( ) 年  
小学校教育 ・ 中学校教育 ・ 高等学校教育  
( ) 年 ( ) 年 ( ) 年

(2) 支援経験のある障がい（状況等）について、当てはまるものを○で囲んでください。

(複数回答可)

知的障がい ・ 自閉症スペクトラム障がい（自閉症・アスペルガー症候群） ・ LD（学習障害）

ADHD（注意欠陥多動性障害） ・ ダウン症 ・ てんかん ・ 脳性麻痺 ・ 医療的ケア

うつ病等精神疾患 ・ その他（例 不登校など）

#### 2 所有している免許・資格について

(1) 所有している教員免許（教科）の種類について、当てはまるものを○で囲んでください。

(複数回答可)

幼稚園 ・ 保育士 ・ 小学校 ・ 中学校 ( ) ・ 高等学校 ( )

特別支援学校（視覚障がい ・ 聴覚障がい ・ 知的障がい ・ 肢体不自由 ・ 病弱）

その他 ( )

(2) 所有している特別支援教育に関わる資格・指導支援に関わる資格等教えてください。

・
・
・

### 3 支援センター部について

(1) 特別支援学校の支援センター部に所属し、外部支援（小中学校等の支援）を経験したことがありますか。当てはまるものを○で囲んでください。

はい                      ・                      いいえ

「はい」の場合 (2) (3) (4) をお答えください。  
「いいえ」の場合 (3) (4) をお答えください。

(2) (1) で「はい」を選ばれた方にお尋ねします。外部支援では、どのようなケースに対応したことがありますか。当てはまるものを○で囲んでください。（複数回答可）

発達に関する相談 ・ 体の動きの相談 ・ 聞こえの相談 ・ 見え方の相談 ・ 病気に関わる相談

学習支援に関する相談 ・ ICT 活用に関する相談 ・ 不登校に関わる相談 ・ 就学の相談

進路の相談 ・ 就労の相談 ・ 発達検査、知能検査の実施 ・ その他（                      ）

**\* すべての方にお尋ねします。**

(3) あなたが外部支援の担当となり、今まで経験されたスキルを生かし、携わるなら、以下のどのような相談に対応していただけますか。当てはまるものを○で囲んでください。（複数回答可）

発達に関する相談 ・ 体の動きの相談 ・ 聞こえの相談 ・ 見え方の相談 ・ 病気に関わる相談

学習支援に関する相談 ・ ICT 活用に関する相談 ・ 不登校に関わる相談 ・ 就学の相談

進路の相談 ・ 就労の相談 ・ 発達検査、知能検査の実施 ・ その他（                      ）

**\* すべての方にお尋ねします。**

(4) 特別支援学校の支援センター部以外の校務分掌に所属し、外部支援（小中学校等の支援）を経験したことがありますか。当てはまるものを○で囲んでください。「はい」を選ばれた方は、そのときの校務分掌を教えてください。

はい                      ・                      いいえ

 そのときの校務分掌は（                      ）部





## 4 相談対応のための資料集

### (1) 訪問支援チェックリスト①

資料 4

<b>センター的機能の訪問支援を申し込みします(添書不要)</b> 必要事項をご記入の上、下記に示すメールアドレスに送信ください 花巻清風支援学校メールアドレス：hki-y@iwate-ed.jp センター的機能 訪問支援チェックリスト①			
学校名	( )年	校長名	
住所			男 ・ 女
電話番号			
該当する項目に○をしてください			
学習面		該当学年の漢字の理解が難しい	文章を読んで内容を理解することが難しい
		黒板や教科書の文字を試写するのに時間がかかる	文章を書くことが苦手である
		一斉指示の理解が難しい	計算が苦手である
		自分の言いたいことを順序立てて話すことが苦手である	基本的な図形の概念が理解できない
		文章を音読することが難しい(漢字・ひらがな・発音)	学年相応の表現力で絵を描くことが難しい
行動面		教師の指示に従って行動することが難しい	こだわりがある(予定、環境、興味、勝敗)
		集団活動に参加しないことがある	いつも行動が遅れる
		授業中、席を立ったり、椅子をガタガタするなど、落ち着きがない	静かにしなければならない場面で騒ぐ
		危険なことをする	行動の始めと終わりの切り替えが難しい
		他者を叩いたり蹴ったりする	みんなの注目をひくための行動をする
対人面		人の話を注目して聞くことが難しい	自分のペースでおしゃべりをする
		教師との間で言葉や気持ちのやりとりが苦手である	人がルールを守らないことをひどく怒る
		子ども同士の間で言葉や気持ちのやりとりが苦手である	1人でいることが多い
		叩かれた、意地悪されたなど勘違いすることがある	友達との関係作りが苦手である
		休憩時間に子ども同士より、大人と関わりたがる	人の嫌がることを言ったり、したりする
生活面		整理整頓が苦手である	体調不良をよく訴える
		忘れ物や物をなくすことが多い	食生活に課題がある(偏食、小食、過食)
		感覚が過敏・鈍感である(音・光・匂い・温度・皮膚感覚)	係活動や清掃に取り組まない
		遅刻・早退が多い	上靴を履かない・服装が乱れている
運動面		ボール運動、縄跳び等の協調運動が苦手である	ダンス体操運動の模倣が苦手である
		整列時に「気をつけ」で、静止して立っていることが苦手である	手先が不器用である
その他		欠席が多い	経済面に配慮が必要である
		精神的に不安定である	嘘が多い
		養育態度に問題がある	教師の態度をうかがう様子がある
※上記項目以外で、気がかりなことがあればお書き下さい			

(2) 訪問支援チェックリスト②

資料5

センター的機能を活用した訪問支援チェックリスト②【学習面】

児童生徒 氏名	男 ・ 女				
記入者					
担 任	特別支援教育コーディネーター				
【検査結果】時期，結果等：知能検査，社会能力検査など					
関係機関 <small>※相談等で関 わりがある機 関があれば○ をつけて下さ い</small>	岩手県療育センター（	科）	もりおかこども病院（	科）	児童相談所
	岩手県発達障がい者支援センター	ウィズ	いわてこどもケアセンター		
	総合教育センター	その他（	）		
相談事項 主訴 <small>※特に気にな ることを記入 して下さい</small>					
診断等 <small>※障がい名等 あれば記入下 さい</small>					

該当の項目に○をつけて下さい。（複数回答可）

		問題ない	ときどき 問題がある	支援をして できている	よくある	わからない (未実施)
聞 く	1 聞き間違いがある(「知った」を「行った」と聞き間違える)					
	2 聞きもらしがある					
	3 個別に言われると聞き取れるが，集団場面では難しい					
	4 指示の理解が難しい					
	5 話し合いが難しい(話し合いの流れが理解できず，ついていけない)					
話 す	6 適切な速さで話すことが難しい(たどたどしく話す。とても早口である)					
	7 ことばにつまったりする					
	8 単語を羅列したり，短い文で内容的に乏しい話をする					
	9 思いつくままに話すなど，筋道の通った話をするのが難しい					
	10 内容をわかりやすく伝えることが難しい					

読む	11	初めて出てきた語や、普段あまり使わない語などを読み間違える					
	12	文中の語句や行を抜かしたり、または繰り返し読んだりする					
	13	音読が遅い					
	14	勝手読みがある(「いきました」を「いました」と読む)					
	15	文章の要点を正しく読みとることが難しい					
書く	16	読みにくい字を書く(字の形や大きさが整っていない。まっすぐに書けない)					
	17	独特の筆順で書く					
	18	漢字の細かい部分を書き間違える					
	19	句読点が抜けたり、正しく打つことができない					
	20	限られた量の作文や、決まったパターンの文章しか書かない					
計算する	21	学年相応の数の意味や表し方についての理解が難しい(三千四十七を300047や347と書く。分母の大きい方が分数の値として大きいと思っている)					
	22	簡単な計算が暗算でできない					
	23	計算をするのにとっても時間がかかる					
	24	答えを得るのにいくつかの手続きを要する問題を解くのが難しい(四則混合の計算。2つの立式を必要とする計算)					
	25	学年相応の文章題を解くのが難しい					
推論する	26	学年相応の量を比較することや、量を表す単位を理解することが難しい(長さやかさの比較。「15cmは150mm」ということ)					
	27	学年相応の図形を描くことが難しい(丸やひし形などの図形の模写。見取り図や展開図)					
	28	事物の因果関係を理解することが難しい					
	29	目的に沿って行動を計画し、必要に応じてそれを修正することが難しい					
	30	早合点や、飛躍した考えをする					
上記の質問項目に関して、例以外にお困りの内容がありましたら、記入下さい							

センター的機能を活用した訪問支援チェックリスト②【行動面・対人面】

児童生徒 氏名	男 ・ 女		
記入者			
担 任		特別支援教育コーディネーター	
【検査結果】時期，結果等：知能検査，社会能力検査など			
関係機関	岩手県療育センター（科）	もりおかこども病院（科）	児童相談所
※相談等で関 わりがある機 関があれば○ をつけて下さ い	岩手県発達障がい者支援センター ウィズ いわてこどもケアセンター 総合教育センター その他（ ）		
相談事項 主訴 ※特に気にな ることを1つ記 入して下さい			
診断等 ※障がい名等 あれば記入下 さい			

該当の項目に○をつけて下さい。（複数回答可）

		問題ない	ときどき 問題がある	支援をして できている	できない	わからない (未実施)
1	いろいろな遊具を使って遊ぶことができる					
2	ぞうきんを使うことができる					
3	ほうきを使うことができる					
4	指示をすれば，ごく簡単な役割を遂行できる					
5	指示があれば参加できる					
6	計画に従うことができる					
7	順番を守って，乗り物の乗り降りができる					
8	乱暴に扱ったり壊したりしない					
9	指示されたら，1人で自分の使ったものを片付けできる					
10	みんなの注目をひくための行動をする					
11	用具を勝手に持ち出さない					
12	壊れているかいないかがわかる					
13	川など危険なところへ1人で行くことはない					
14	勝手に機械を触らない					
15	道路へ急に飛び出したりしない					
16	歩道と車道の区別が分かる					

17	人の物はやたら触ったり，使ったりしない					
18	自分の感情や行動をコントロールできる					
19	自分の使った物は，進んで後片付けができる					
20	修理を手伝うことができる					
21	簡単な機械なら安全に使用できる					
上記の質問項目に関して，例以外にお困りの内容がありましたら，記入下さい						
		問題ない	ときどき問題がある	支援をしてできている	よくある	わからない(未実施)
22	登校渋りがある					
23	欠席が多い					
24	別室登校をしている					
25	遅刻・早退が多い					
26	経済面に配慮が必要である					
27	精神的に不安定である					
28	反社会的な行動（深夜徘徊，喫煙，窃盗など）がある					
29	嘘が多い					
30	教師の態度をうかがう様子がある					
31	養育態度に問題がある					
32	虐待の疑いがある					
33	多動・離席が多い（おちつき）					
34	場面緘黙がある					
35	人の気持ちが理解できる					
上記の質問項目に関して，例以外にお困りの内容がありましたら，記入下さい						

センター的機能を活用した訪問支援チェックリスト②【生活面】

児童生徒 氏名	男 ・ 女		
記入者			
担 任	特別支援教育コーディネーター		
【検査結果】時期，結果等：知能検査，社会能力検査など			
関係機関	岩手県療育センター（科） もりおかこども病院（科） 児童相談所		
※相談等で関 わりがある機 関があれば○ をつけて下さ い	岩手県発達障がい者支援センター ウィズ いわてこどもケアセンター 総合教育センター その他（科）		
相談事項 主訴 ※特に気にな ることを1つ記 入して下さい			
診断等 ※障がい名等 あれば記入下 さい			

該当の項目に○をつけて下さい。（複数回答可）

		問題ない	ときどき 問題がある	支援をして できている	できない (問題がある)	わからない (未実施)
1	献立によって，はし，フォークなどを使い分けることができる					
2	食事前や排泄時に手洗いをすることができる					
3	手洗いの後，手を拭くことができる					
4	テーブルを拭くことができる（食事一後片付け）					
5	家族にあいさつすることができる					
6	トイレットペーパーを適量使用することができる					
7	ボタンのとめはずしが1人でできる					
8	表・裏，前・後を間違わずに衣服を着ることができる					
9	立ったまま衣服を着ることができる					
10	ワイシャツ，上着をズボンの中に入れることができる					
11	チャックやホックのついた衣服を着ることができる					
12	靴の左右が分かる					
13	ゴミはゴミ箱に捨てることができる					
14	1人前の分量がわかり盛りつけることができる					
15	口の中に物を入れたまましゃべらない					
16	他人がこぼした物でも，拾って片付けることができる					

17	食器を拭いて、所定の位置に片付けることができる					
18	布団の出し入れが自分でできる（ベットを整えることができる）					
19	破れた物や汚れた物に気づき、処理できる					
20	両手ともツメを切ることができる					
21	歯の衛生に関心を持つことができる					
22	あいさつ・返事ができる					
23	忘れ物をしない					
24	整理整頓ができる					

上記の質問項目に関して、例以外にお困りの内容がありましたら、記入下さい

--	--

センター的機能を活用した訪問支援チェックリスト②【暮らしの技術・運動面】

児童生徒氏名	男 ・ 女		
記入者			
担 任		特別支援教育コーディネーター	
【検査結果】時期，結果等：知能検査，社会能力検査など			
関係機関	岩手県療育センター（科） もりおかこども病院（科） 児童相談所 岩手県発達障がい者支援センター ウィズ いわてこどもケアセンター 総合教育センター その他（科）		
※相談等で関わりがある機関があれば○をつけて下さい			
相談事項 主訴			
※特に気になることを1つ記入して下さい			
診断等			
※障がい名等あれば記入下さい			

該当の項目に○をつけて下さい。（複数回答可）

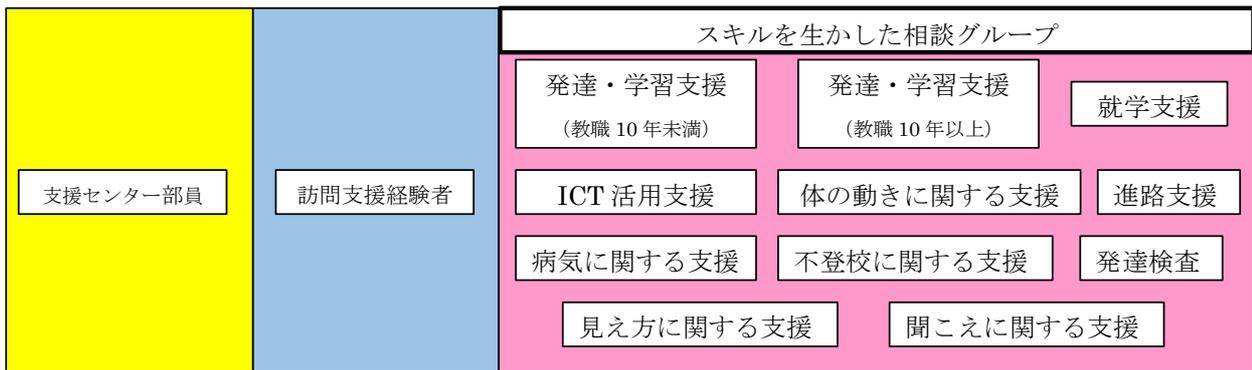
暮らしの技術		問題ない	ときどき問題がある	支援をしてできている	できない	わからない (未実施)
1	お金にはいろいろな種類があることがわかる					
2	銀行や郵便局のことがわかる					
3	三度の食事を規則正しく取ることができる					
4	規則正しく睡眠を取ることができる					
5	エアコンのスイッチを入れることができる（暑さ・寒さの判断）					
6	休日とそうでない日が区別できる					
7	正月や水泳の季節がわかる					
8	自分で傘をさすことができる					
9	歩道があるところは，歩道を歩くことができる					
10	信号の意味がわかる					
11	みんなの机に箸を置くことができる					
12	形，色，大きさなどで分類することができる					
13	3までの概念が理解できる					
14	身近にある具体物を数えることができる					
15	丸，三角，四角の形を書くことができる					
16	簡単な指示や説明を聞いて，できるだけそのとおりに行動する					
17	必要な時に助けを求めることができる					

18	ロッカーや靴箱に書いてある自分の名前を読むことができる					
19	買う物が多くても、間違いなく買い物ができる					
20	一つ一つ指示すれば、こづかい帳の記帳ができる					
21	収入、支出の意味がわかる					
22	残金の意味がわかる					
23	千円の紙幣や1万円の紙幣で10万円まで数えることができる					
24	生活にはお金が必要なことを知り、無駄づかいしない					
25	友達がけがをしたとき、手当てをしてあげることができる					
26	体には必要な栄養素があることがわかる					
27	部屋の換気や採光に注意することができる					
28	いま西暦何年であるかがわかる					
29	休日の意味を知り、有効に過ごすことができる					
30	温度に応じて衣服が調節できる					
31	交通ルールを守り、安全に自転車を運転できる					
32	指示があれば、緊急時に電話をかけることができる					
33	お湯をわかすことができる					
34	食器を洗剤をつけて洗い、元のところへ戻す					
35	はかりで物を量ることができる (kg, g)					
36	直角、垂直の意味がわかり、書くことができる					
37	いろいろな図表を読んだり、書いたりすることができる					
38	新聞、雑誌などを見たり、読んだりすることができる					

運動等		問題ない	ときどき問題がある	支援をして できている	できない	わからない (未実施)
1	物を力いっぱい投げることができる					
2	物を力いっぱい引っ張ることができる					
3	かがんだ姿勢でじっとしていることができる					
4	得意な作業や興味のある作業なら意欲的にできる					
上記の質問項目に関して、例以外にお困りの内容がありましたら、記入下さい						

### (3) 相談チームの編成 (例)

#### ・校内資源調査を生かしたカテゴリー例

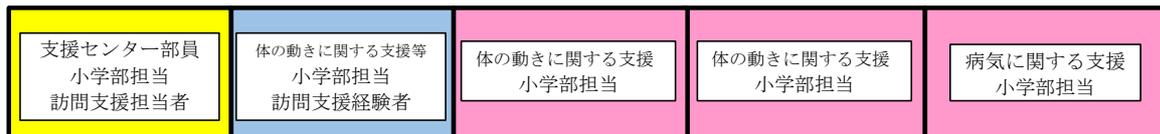


#### 相談ケース例 1

主訴：学校生活全般の支援（小学生）

医療的ケアが必要な児童で生活全般の支援が必要である，車イスを使用しているストレッチなど自立活動の支援の方法について教えてほしい

#### 相談チームの編成例



#### 編成理由

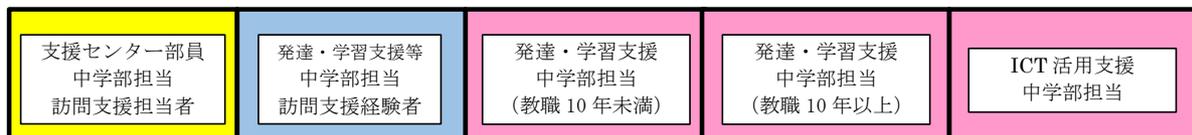
- ・体の動きに関する支援に相談対応可能な教職員を中心に編成する
- ・特別支援学校の重複障がい学級経験者など自立活動を中心に支援をしている教職員も選定する

#### 相談ケース例 2

主訴：学習支援（中学生）

ひらがなや漢字，数字など「読み」に関することを苦手になっている授業内容を理解することが難しい

#### 相談チームの編成例



#### 編成理由

- ・中学生の相談のため中学部教職員を中心に編成する
- ・「発達・学習支援」について相談対応可能な職員を中心に編成する
- ・「読み」という特定の分野で苦手な点があるため，タブレット PC を活用した支援の可能性があるため「ICT 活用支援」のカテゴリーからチームに選定する

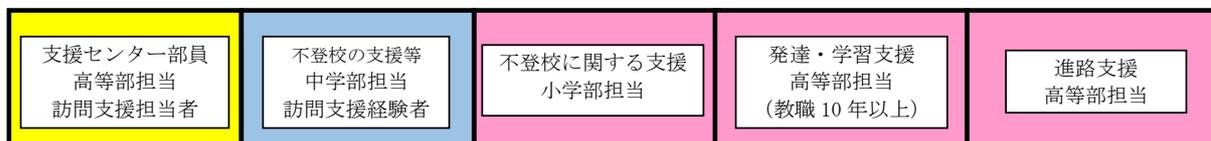
### 相談ケース例 3

主訴：不登校の支援について（高校生）

登校してもクラスメイトとの関わりは希薄である

学習は苦手で、ノートに板書したことを書かない

#### 相談チームの編成例



#### 編成理由

- ・不登校の児童生徒について対応教職員を中心に編成する
- ・現在の状況が続くようであれば、進路変更等も視野に入れ、進路支援の相談対応が可能な教職員も選定する

### 相談ケース例 4

主訴：学習支援について（高校生）

学習面で支援が必要な生徒で書くことや読むことに困難さがある

指示の内容が理解できず、トラブルが起きる

#### 相談チームの編成例



#### 編成理由

- ・高校生の相談のため高等部の教職員を中心に編成する
- ・学習面の支援について相談可能な教職員を選定する

(4) 相談ケースシート

資料7

相談ケースシート				
ふりがな 氏名		所属学級	通常の学級 支援学級（知的，自・情，病弱，肢体，その他）	
学校名				
対象児の概要	← 対象児童生徒の情報を記入する			
訪問先 からの 相談内容	← 主訴や相談された事柄を記入する			
相談日時	相談チームでの 支援提案	訪問時の様子	訪問先の取り組む内容 (確認事項)	相談後の状況
	↑ チーム支援検討会で 検討された内容を記 入する		↑ カンファレンスで 確認したことを記 入する	↑ 訪問支援後の情報 を記入する

## センター的機能アンケート

センター的機能の訪問支援を行うにあたり、相談者が満足していただけることや質の向上を図っていくことができるよう、ご意見・ご感想をお聞きます。今後のセンター的機能推進のため、参考にさせていただきます。ぜひ、ご協力よろしくお願いします。

## 訪問支援についてお伺いします。

回答欄に評価を選択してください。

満足 ほぼ満足 普通 やや不満 不満 回答

	満足	ほぼ満足	普通	やや不満	不満	回答
1 担当者の話はわかりやすかったですか。	5	4	3	2	1	
2 担当者の話は特別支援の専門性を感じましたか。	5	4	3	2	1	
3 担当者の提案は取り組みそうな内容でしたか。	5	4	3	2	1	
4 担当者の提案で、相談内容について解決できそうですか。	5	4	3	2	1	

5 特別支援学校のセンター的機能についてご感想、ご意見を教えてください。

ご協力ありがとうございました



## 【参考文献】

上岡一世 (2006), 『指導年齢が分かる自立と社会参加を実現する個別の指導プログラム』, 明治図書  
【引用 Web ページ】

文部科学省 初等中等教育局特別支援教育課 (2017), 『平成 27 年度特別支援学校のセンター的機能の取組に関する状況調査について』

[http://www.mext.go.jp/a\\_menu/shotou/tokubetu/material/\\_\\_icsFiles/afieldfile/2017/03/14/1383107.pdf](http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/tokubetu/material/__icsFiles/afieldfile/2017/03/14/1383107.pdf) (平成 29 年 4 月 10 日閲覧)

文部科学省 (2002), 『通常の学級に在籍する特別な教育的支援を必要とする児童生徒に関する全国実態調査』

[http://www.mext.go.jp/b\\_menu/shingi/chousa/shotou/054/shiryo/attach/1361231.htm](http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/shotou/054/shiryo/attach/1361231.htm) (平成 29 年 4 月 12 日)